

室内楽の愉しみ Fantasy

Recital for Beethoven
And Schubert Fantasy

Beethoven Schubert

P/ 徳丸聡子 P/ 齋木ユリ Sop/ 岩見真佐子 P/ 浦壁信二 CI/ 松尾賢一郎

プログラム

ベートーヴェン：

四手のための6つの変奏曲 *Sechs Variationen Wo074* 徳丸聡子、齋木ユリ、岩見真佐子
ゲーテの詩による三つの歌より 悲しみの喜び *Wonne der Wehmut Op.83-1* 岩見真佐子、齋木ユリ

シューベルト：

幻想曲 へ短調 *Fantasie f-moll Op.103/D940* 徳丸聡子、齋木ユリ
岩上の牧人 *Der Hirt auf dem Felsen D965* 岩見真佐子、浦壁信二、松尾賢一郎

ほか

2023年6月9日(金)

19:00開演 (18:30開場/20:45終演予定)

東京オペラシティリサイタルホール

京王新線「初台駅」下車 東口直結地下1階

一般4,000円 学生2,000円 (予約受付 3月1日 一般発売 3月9日)

後援：



公益社団法人日本演奏連盟
NPO 法人 日本声楽家協会
公益財団法人 東京二期会
SMS サポート・ミュージック・ツサイエティ
室内楽の愉しみ 2023

【お申込み・お問合せ】

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999(月曜定休)

ベートーヴェン・シューベルトリサイタル実行委員会

Ken オフィス 090-9979-3251 info@masakosop.com



徳丸聰子 (ピアノ)

桐朋学園音楽科ができた時に一期生として入学し、その後も短期大学・専攻科でピアノと指揮を学びました。卒業後、アメリカに留学し、タンゲルウッドの指揮コンクールに入賞後、ニューヨークのジュリアード音楽院でピアノと室内楽を、そして同音楽院指揮科の最初の女子学生として指揮を学びました。帰国後、ピアノ・リサイタルや多くの現代曲をピアノあるいは指揮で初演した他、東京交響楽団のベートーヴェンの交響曲や、藤原歌劇団のオペラ《カルメン》などを指揮しました。その後はピアノに専念し、NHKの「ピアノのお稽古」を2期担当しました。桐朋学園音楽大学教授を定年退職後も、ピアノの演奏と指導を続けています。



斎木ユリ (ピアノ)

桐朋学園大学音楽学部卒業。徳丸聰子氏に師事。室内楽、合唱などの共演者として多くの演奏会に出演、放送、録音に参加し、邦人作曲家作品の初演なども行っている。第6回日本国際音楽コンクールで最優秀伴奏者賞、第1回カサド国際チェロ・コンクールで原智恵子賞を受賞。現在、桐朋学園大学附属「子供のための音楽教室」講師、NHK東京児童合唱団講師、客員ピアニスト。



岩見真佐子 (ソプラノ)

東京藝術大学及び大学院修士課程修了。二期会オペラ研修所修了。優秀賞受賞。ミュンヘンにてE.ヘフリガー氏に師事。第五回日本モーツァルト国際音楽コンクール声楽部門第三位受賞。日本声楽家協会の派遣でウィーン留学。チューリヒ・ビルツェルンマスターコースにて、ドイツ歌曲解釈法・ルネサンス・バロック演奏法をJ.デーラー氏に師事。文化庁オペラ研修所20周年記念公演、国際NGO連盟協議会演奏会(於エルサレム)。ソプラノE.マティス氏に代わりバッハ「ロ短調ミサ曲」のソリストに抜擢され、「荘厳ミサ曲」「千人の交響曲」「第九」等で国内外の主要オーケストラと共演。オペラで清らかな声と可憐な役柄で聴衆を魅了している。「ゲーテの詩によるドイツ歌曲」(東京文化会館)開催。東邦音楽大学にて後進の指導にあたる傍ら、現代作曲家との共演、文科省教材録音、ヤマハホール、東日本九州震災支援プロジェクト等。草津国際音楽祭招聘アーティスト。日本演奏連盟会員、日本ヴォルフ協会、日本声楽家協会会員。二期会会員。



浦壁信二 (ピアノ)

4才よりヤマハ音楽教室にて学び、1981年国連総会議場でJOCに参加し自作曲をロストロポーヴィチ指揮ワシントンナショナル交響楽団と共演。1985年から都立芸術高校音楽科、作曲家に在籍後、1987年パリ国立高等音楽院に留学。和声・フーガ・伴奏科で1等賞、対位法で2等賞を得て卒業。ピアノをテオドール・パラスキヴェスコ、伴奏をジャン・ケルネルに師事、ヴェラ・ゴルノスタエヴァ、イェルク・デームス等のマスタークラス参加。1994年オルレアン20世紀音楽ピアノコンクールで特別賞ブランシュ・セルヴァを得て優勝。国内外の多くのアーティストとの共演を果たしている。12年CD「水の戯れ〜ラヴェルピアノ作品集I」14年「クーブランの墓〜ラヴェルピアノ作品集II」をリリース。現在、洗足学園音楽大学客員教授、ヤマハマスタークラス講師として後進の指導にも当たっている。



松尾賢一郎 (クラリネット)

桐朋学園大学卒業後、アルフレート・プリンツ教授の最後の弟子としてウィーン国立音楽大学で学ぶ。1997年に帰国後5年NHK交響楽団に客演の他、オーケストラ奏者として活躍。又、2010年のオペラシティでのリサイタルは好評を博した。1999年結成のトリオ・シュタムティッシュは20回の定期演奏会を数える等、ソロ、室内楽にも力を注ぐ。現在、東邦音楽大学・大学院講師として後進の指導にもあたる。松本久雄、北爪利世、エルンスト・オッテンザマーの各氏に師事の他、カール・ライスター、ハンス・ダイツァ、アロイス・ブランドホーファーのマスターコースを受講。